

専門教育科目

講義科目

授業科目名	福祉産業のマネジメント	科目コード	配当年次	単位
担当教員	小野 洋子	EB85	3・4	4

科目の概要

少子高齢化の急進により社会構造が変化し、全世代型社会保障の観点から制度改革が進められている。社会経済状況や財源問題、福祉産業に対するニーズの多様化などによって、福祉サービスの役割と運営内容も変革の最中にある。

本科目では介護と福祉（障害・児童）を総合的に学び、福祉制度や事業内容・経営実態を理解する。財務諸表の公表、経営効率化、働きやすい職場作りなどへの対応が求められる中で福祉事業に必要とされるマネジメントの基礎知識を養う。

科目の到達目標

- ①福祉産業を取り巻く環境と全体像を把握し、介護と福祉（障害・児童）の制度変遷や事業内容について具体的に説明できる。
- ②介護と福祉（障害・児童）の事業の仕組みと経営状況を適切にとらえ、事業の取り組み方や今後の見通しについて考えられるようになる。

テキスト

『最新福祉ビジネスの動向とカラクリがよくわかる本』大坪 信喜, 秀和システム, 2021年

テキストの読み方

- ①第1章で福祉ビジネスの基盤となる制度変遷を、第2章で少子超高齢社会の現状と福祉産業界を取り巻く環境を確認し、介護福祉領域の全体像について理解を深める。
- ②第5章で経営計画立案のフロー・ノウハウを学習したうえで、第3章で福祉サービス概要と経営状況を把握する。第4章で各事業の損益構造の読み取り方を学び、国策と福祉産業の実態とを照らし合わせて、事業の取り組み方や今後の見通しを展望する。参考サイト（p.294-295）も活用されたい。
- ③第6章で福祉職の知識を得て、喫緊の課題である人材確保・組織運営のあり方について考える。

単位修得の方法

レポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。